



ステルス枠・インセット枠共通

フルハイトドア®

施工手順書③-2

扉・金物の取付

↓施工動画はコチラ



片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)壁、2枚引違い戸(上吊)

①-1.木工事・標準仕様 / ①-2.木工事・準耐火仕様

ステルス枠/インセット枠 施工手順書一覧

共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。

※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。

※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

①木工事

①-1.ステルス枠・標準仕様 / ①-2.ステルス枠・準耐火仕様 /

①-3.インセット枠仕様

②クロス・塗り壁工事 (ステルス枠・インセット枠共通)

③扉・金物の取付 (ステルス枠・インセット枠共通)

③-1. 片開き戸、親子戸

③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)

③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)

③-4. 片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット

④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、連続開き戸

④-3. スライド片開き戸

⑤オートマチックドア

⑤-1. 片引き戸(上吊) ⑤-2. 片開き戸

⑥ヴェトロ・ミラノ

⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 片開き戸

⑦カエサル

⑦-1. スイング戸、両スイング戸、サイドガラスユニット

⑦-2. アウトセット片引き戸(上吊)

⑧マルコ

⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)

⑨フィット

⑨-1. スイング戸 ⑨-2. 片引き戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)、引分け戸



施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



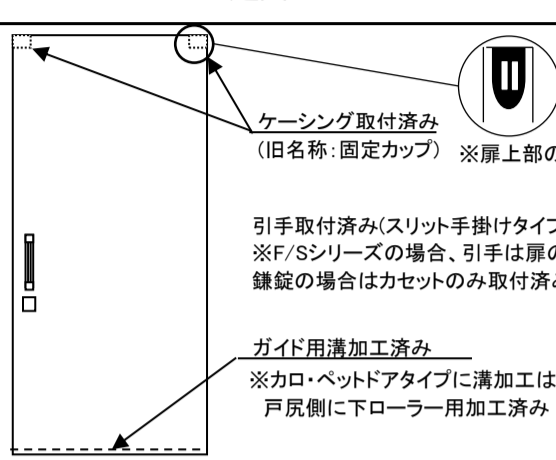
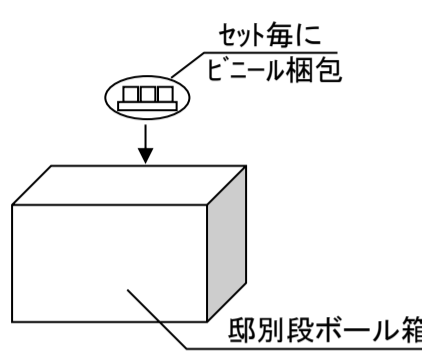
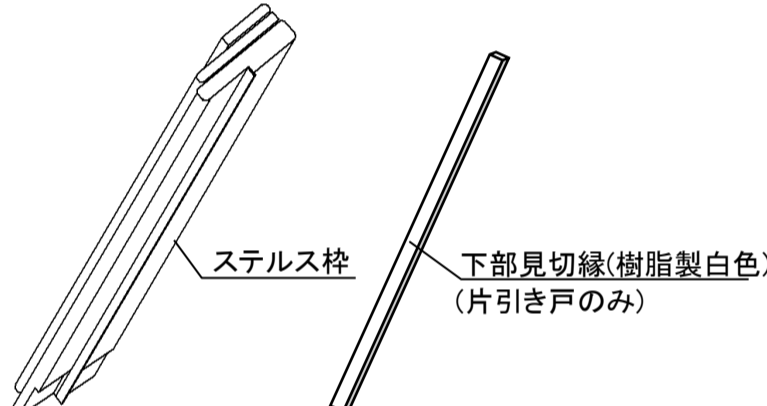
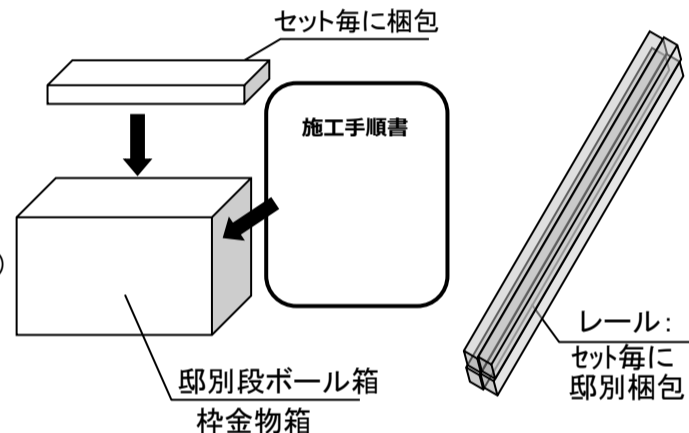
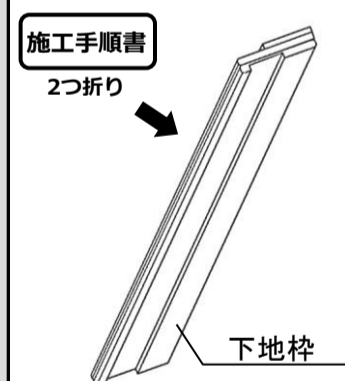
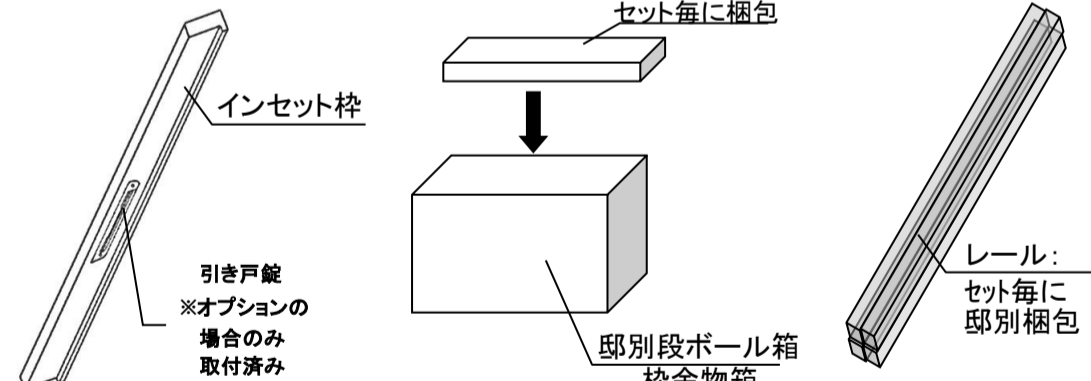
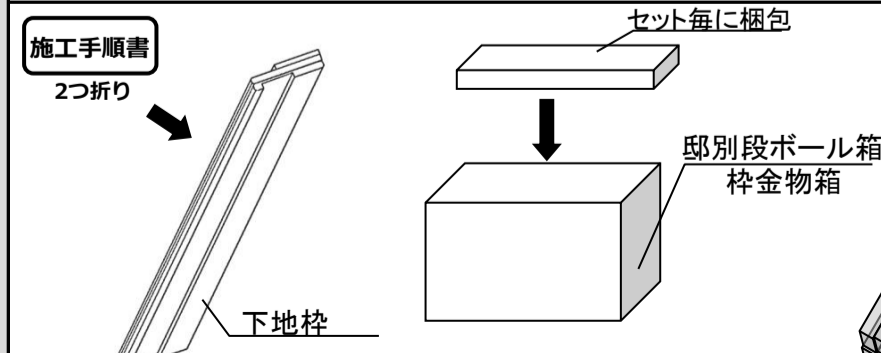
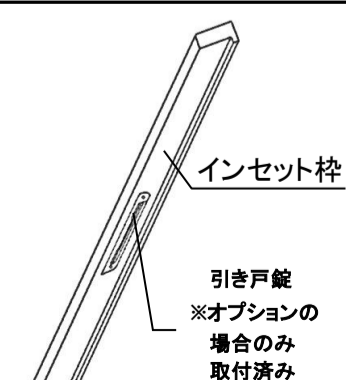
● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

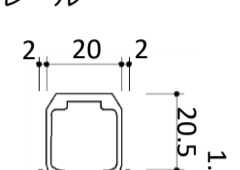

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

□納品形態





ステルス枠・インセット枠 共通	
扉 の 納 品	建具
	 <p>ケーシング取付済み (旧名称:固定カップ) ※扉上部の吊車加工部に化粧キャップ同梱</p> <p>引手取付済み(スリット手掛けタイプはなし) ※F/Sシリーズの場合、引手は扉の上端にテープで取付 鎌錠の場合はカセットのみ取付済み</p> <p>ガイド用溝加工済み ※カロ・ベッドドアタイプに溝加工はありません。 戸尻側に下ローラー用加工済み</p>
	<p>建具金物箱</p>  <p>セット毎にビニール梱包</p> <p>邸別段ボール箱</p>
ステルス枠 仕様の場合	
ステルス枠	枠金物箱/レール
 <p>ステルス枠</p> <p>下部見切縁(樹脂製白色) (片引き戸のみ)</p>	 <p>セット毎に梱包</p> <p>施工手順書</p> <p>邸別段ボール箱 枠金物箱</p> <p>レール: セット毎に 邸別梱包</p>
インセット枠 仕様の場合	
下地枠	インセット枠/金物箱/レール
 <p>施工手順書 2つ折り</p> <p>下地枠</p>	 <p>インセット枠</p> <p>引き戸錠 ※オプションの 場合のみ 取付済み</p> <p>セット毎に梱包</p> <p>邸別段ボール箱 枠金物箱</p> <p>レール: セット毎に 邸別梱包</p>
インセット枠ポケット戸 仕様の場合	
下地枠/枠金物箱/レール	インセット枠
 <p>施工手順書 2つ折り</p> <p>下地枠</p> <p>セット毎に梱包</p> <p>邸別段ボール箱 枠金物箱</p> <p>レール: セット毎に 邸別梱包</p>	 <p>インセット枠</p> <p>引き戸錠 ※オプションの 場合のみ 取付済み</p>
<p>※ポケット戸の場合は下地枠と下地金物箱が同時に同梱されます</p>	

□金物箱の梱包内容

※インセット枠のポケット戸は施工手順の関係で下地金物箱に同梱されます。
 ※赤字はポケット戸専用の部品です


枠金物箱		片引き戸(上吊)	アウトセット 片引き戸(上吊) エンド枠無	アウトセット 片引き戸(上吊) エンド枠付	ポケット戸	2枚引違い戸	カロ ペットドアタイプ
上レール  取付ビス(皿タッピングビス3.5×35×1袋14本入り)	戸袋用上レール  取付ビス(皿タッピングビス3.5×35×1袋14本入り)	1本	1本	1本	2本 戸先側/戸尻側	2本	1本
※※※取付ビスは「デュアルソフトクローザー & 上ローラー」の梱包箱にセットされます※※※							
デュアルソフトクローザー & 上ローラー 		1セット	1セット	1セット	1セット	2セット	1セット
トリガー  (取付ビス含む)	戸袋用トリガー  (取付ビス含む)	1セット	1セット	1セット	1セット	2セット	1セット
エンドプレート  (取付ビス含む)	戸袋用エンドプレート  (取付ビス含む)	2個	-	1個	1個	4個	2個
スパナ 	1本/5開口						
床付ガイド  (取付ビス含む)	1個	1個	1個	1個	1個	2個	-
下部レール  (取付ビス含む) ※「カロ」ペットドアタイプを注文の際に納品されます	-	-	-	-	-	-	1本
バンパーブロック 	-	2個	1個	-	-	-	-
下部戸当たり  (取付ビス含む)	-	2個	1個	-	-	-	左記 ※1~※3 同様
	※1	※2	※3				

□金物箱の梱包内容

枠金物箱	片引き戸(上吊)	アウトセット 片引き戸(上吊) エンド枠無	アウトセット 片引き戸(上吊) エンド枠付	ポケット戸	2枚引違い戸	カロ ペットドアタイプ
壁付ガイド  (取付ビス含む) ※「単品金物」で別途注文の際に必要な個数	※1 1個	※2 1個	※3 1個	使用 不可	使用 不可	使用 不可
鎌錠受け  (取付ビス含む) ※「錠付」を注文の際に納品されます	1個	-	1個	1個	-	左記 ※1~※3 同様
アウトセット引戸錠受け  (取付ビス含む) ※「錠付」を注文の際に納品されます	※1 -	※2 1個	※3 -	-	-	左記 ※1~※3 同様
調整ビス【標準】 スペーサー1ヶ付  コースレッドビス【準耐火】  ※インセット枠仕様では同梱無し。	※1 14本	※2 -	※3 14本	14本	28本	左記 ※1~※3 同様

建具金物箱	片引き戸(上吊)	アウトセット 片引き戸(上吊) エンド枠無	アウトセット 片引き戸(上吊) エンド枠付	ポケット戸	2枚引違い戸	カロ ペットドアタイプ
鎌錠  ※「錠付」を注文の際に納品されます 芯棒は1番長いものを使用	※1 1セット	※2 -	※3 1セット	1セット	-	左記 ※1~※3 同様
アウトセット引戸錠  ※「錠付」を注文の際に納品されます	※1 -	※2 1セット	※3 -	-	-	左記 ※1~※3 同様
下ローラー  ※「カロ」ペットドアタイプを注文の際に納品されます	-	-	-	-	-	1個
打込みスペーサー  ※「カロ」ペットドアタイプを注文の際に納品されます	-	-	-	-	-	1個

□その他インセット枠の梱包内容

インセット枠同梱物	片引き戸(上吊)	アウトセット 片引き戸(上吊) エンド枠無	アウトセット 片引き戸(上吊) エンド枠付	ポケット戸	2枚引違い戸	カロ ペットドアタイプ
MSビス ビスキャブ ※インセット枠のみ 	H24 : 5個 H27 : 6個	-	H24 : 5個 H27 : 6個	H24 : 5個 H27 : 6個	H24 : 10個 H27 : 12個	H24 : 5個 H27 : 6個

上レールの取付（ポケット戸を除く）

上レールを取り付ける際、戸先側・戸尻側の向きに注意し、右表のとおり各開閉様式に応じた金物を上レール内部に入れ、付属ねじで上レールを固定してください。

【注意事項】

※上レールはプレカット、穴加工済み、「戸尻側」のシール貼り済みで納品されます。

※ソフトクローザーの誤作動の原因となりますので、上レールの取付ビスの締め過ぎやビス頭の出っ張りが無いように注意してください。

※エンドプレートがある場合は上レール端部に両面テープで仮止めし、付属ねじで固定してください。

※トリガー取付穴に上レール固定ねじを取付けないでください。

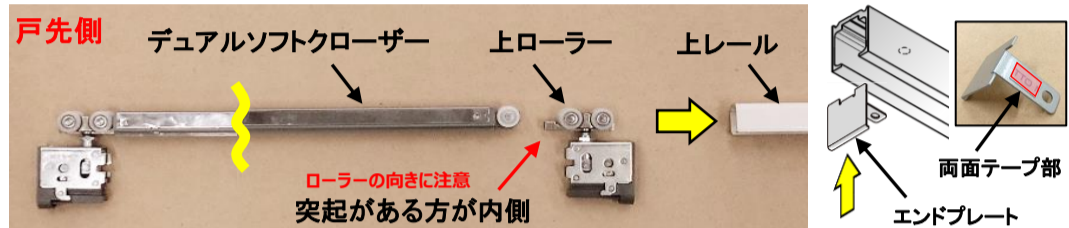
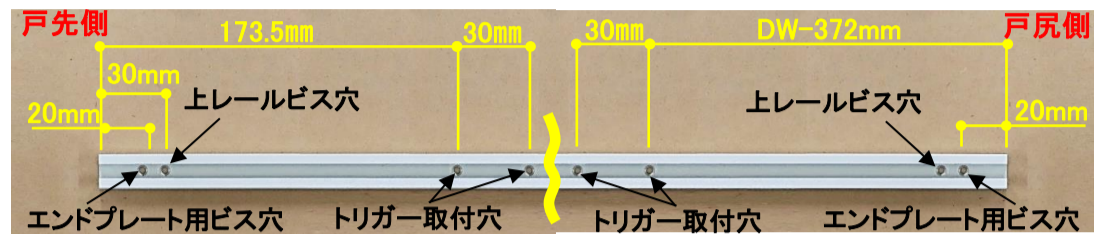
※上レール内にゴミやアルミの切粉などはきれいに取り除いてください。

※金物が破損する原因となりますので、過度な勢いで扉の開閉を行わないでください。

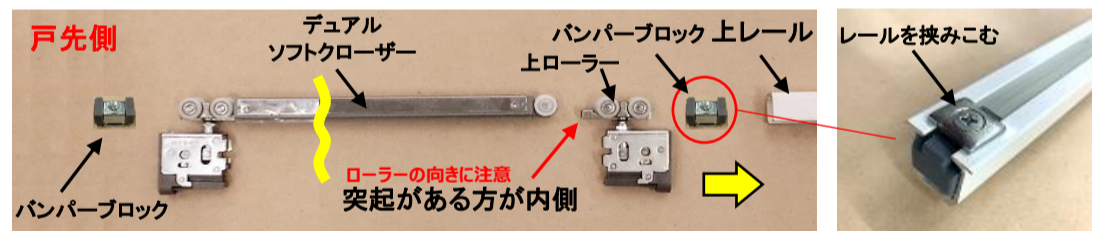
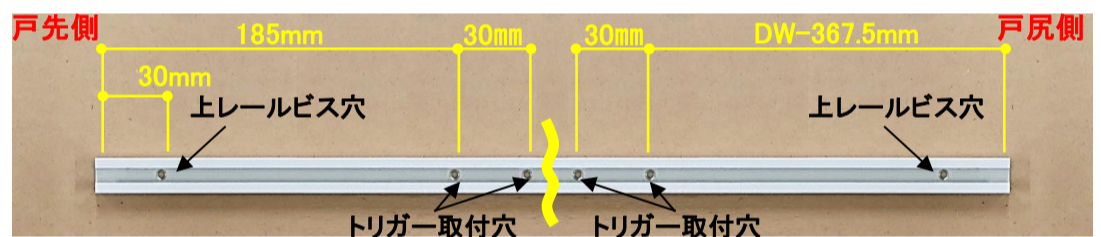
※レールは下地枠内よりも短くなっています。左右均等にクリアランスを設けて取付けてください。

【片引き戸】 レール長さ=ステルス枠：下地枠内W-5mm

インセット枠：下地枠内W-20mm

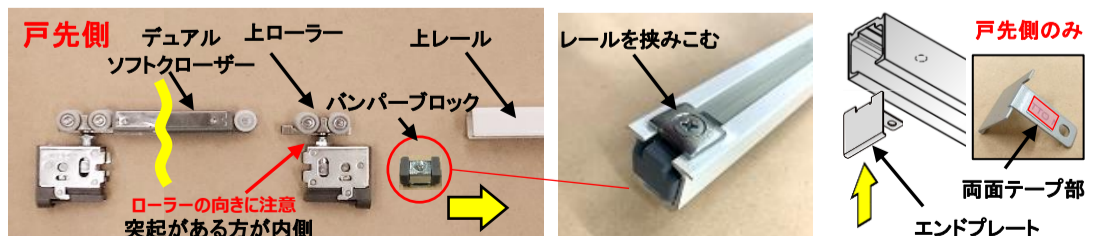
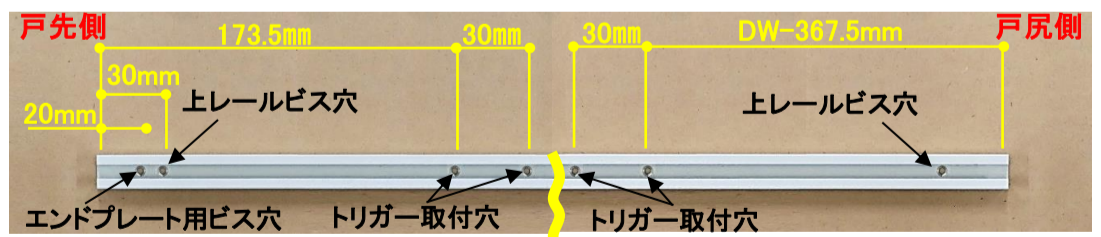


【アウトセット片引き戸エンド枠無し】 レール長さ=上枠下地長さ-3mm



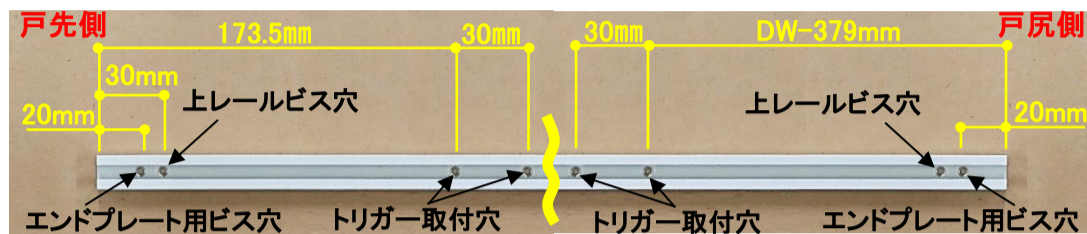
【アウトセット片引き戸エンド枠付き】 レール長さ=ステルス枠：上枠下地長さ-24mm

インセット枠：上枠下地長さ-32mm



上レールの取付（ポケット戸を除く）

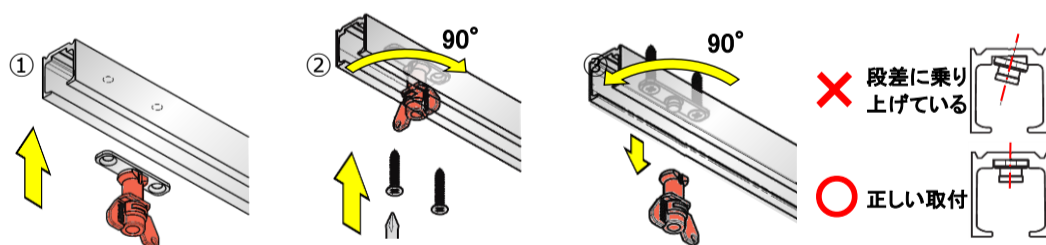
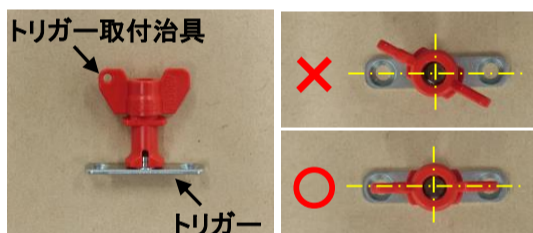
【2枚引違い戸】 レール長さ=ステルス枠：下地枠内W-5mm × 2本
 インセット枠：下地枠内W-44mm × 2本



※レールは下地枠内よりも短いものが納品されます。左右均等にクリアランスを設けて取付けてください。

トリガーの取付（ポケット戸を除く）

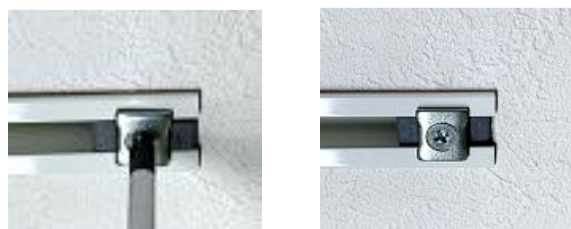
トリガーを取付治具にセットし、トリガー取付穴に合せてください。治具を90°回し、トリガーを付属ねじで取付けてください。取付治具は元の向きに戻すと外れます。



バンパーブロックの固定（アウトセット片引き戸専用）

バンパーブロックが取付く場合は、グレー色のゴム部を上レール端部ぎりぎりに寄せて固定します。

バンパーブロックが取付く場合は、エンドプレートは取付きません。



戸袋側レールの取付 (ポケット戸専用)

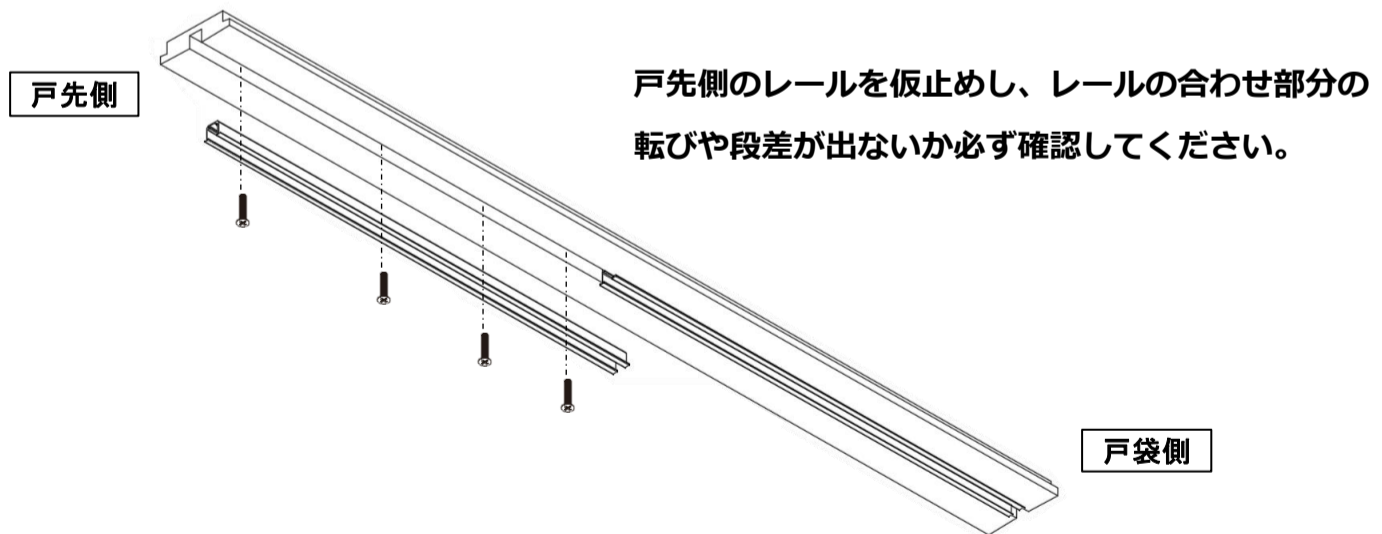
※小壁立てる前の施工



②ロングトリガーを挿込む

- ・ 付属のビスで上レールを取付けてください。
- ・ 上レール内にゴミやアルミの切粉等綺麗に取り除いてください。
- ・ レールビスの締め過ぎや出張りが無いように注意してください。

【戸袋側レール取付後の確認】



! 段差無し



× 上下段差

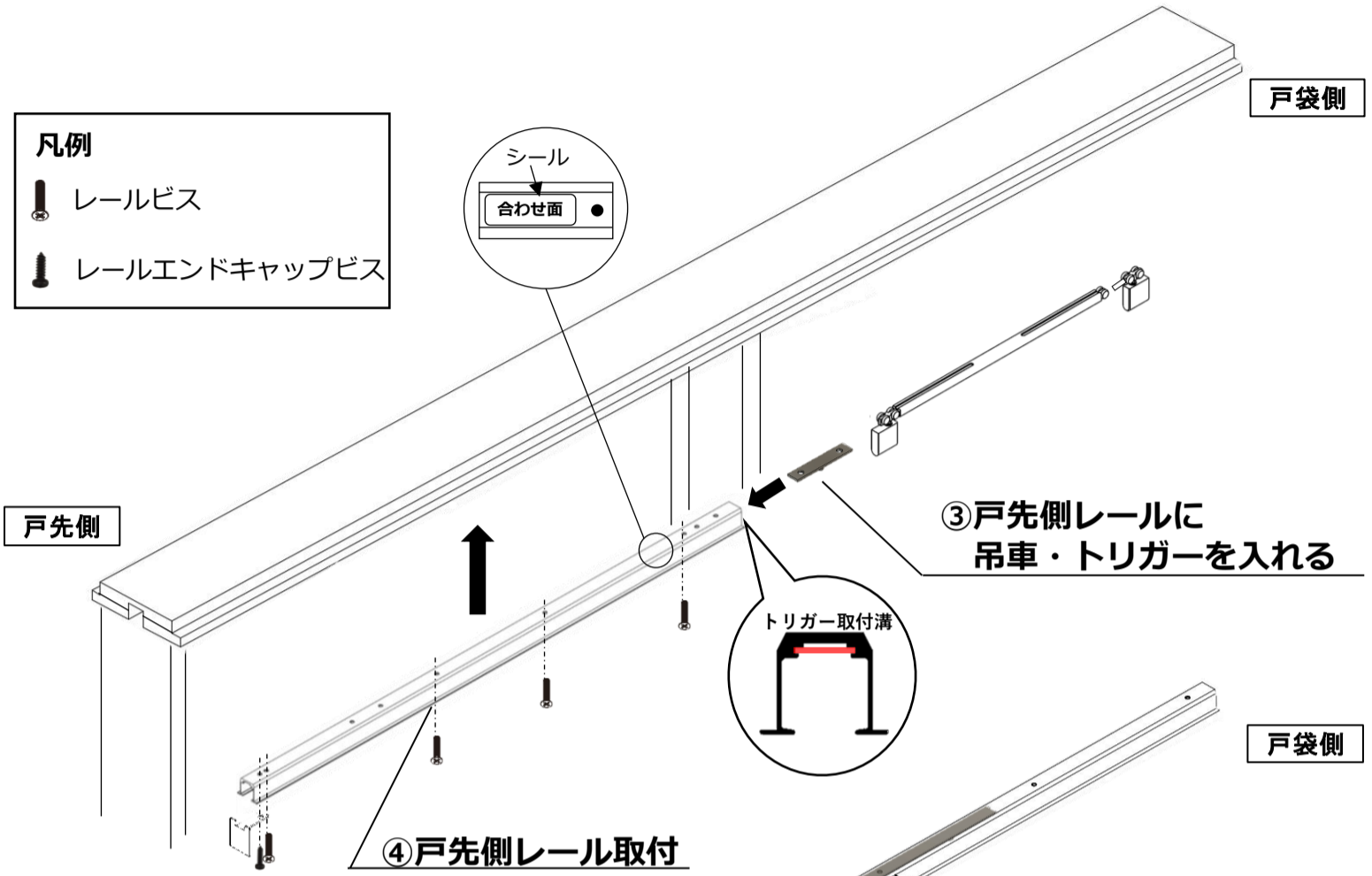
× 左右段差


× 転び

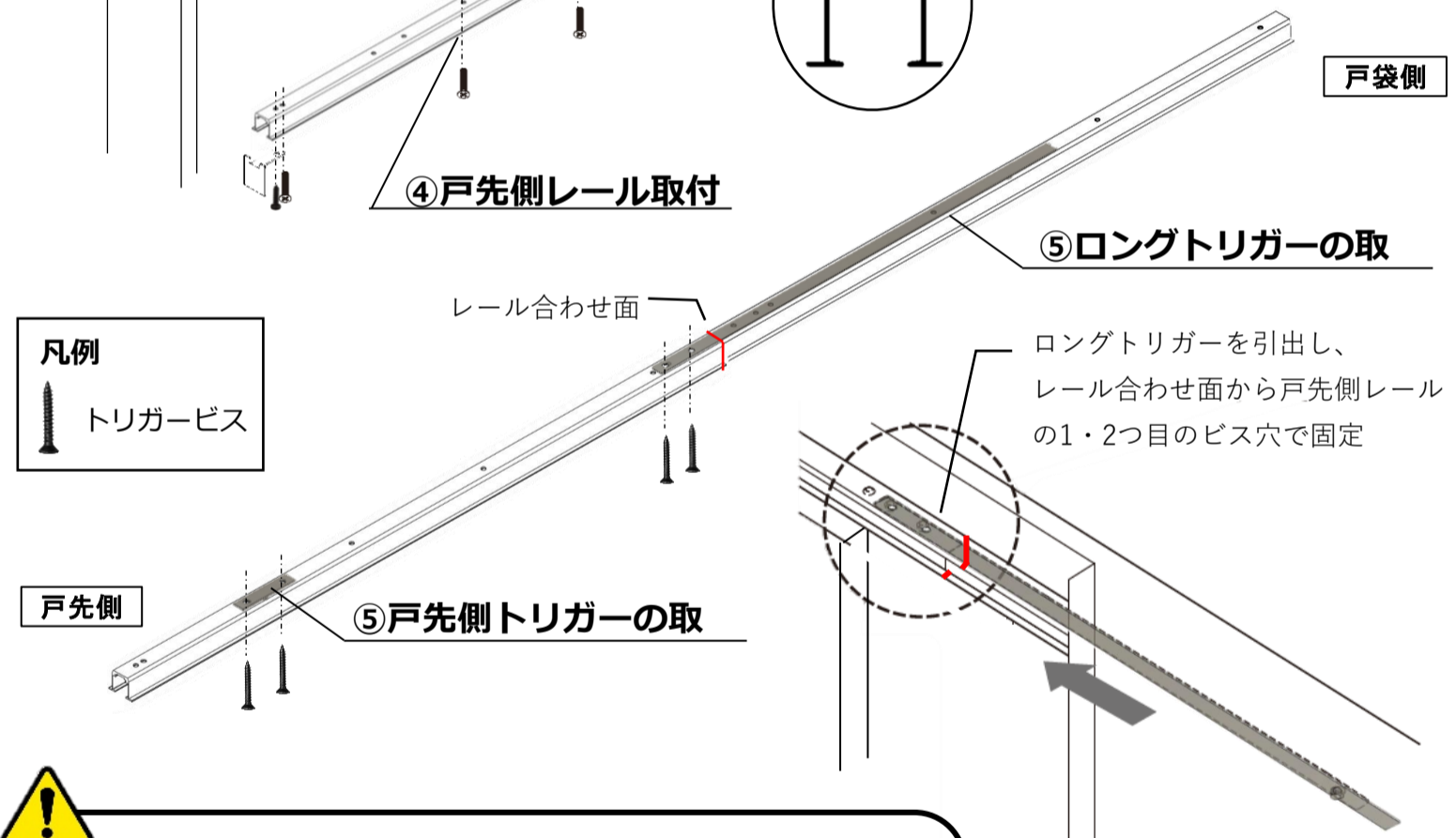
レール同士の段差や
転びが無いか確認
してください。


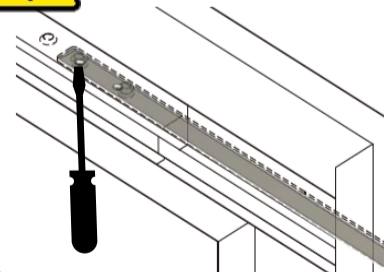
戸先側レール・トリガーの取付（ポケット戸専用）

- 凡例**
-  レールビス
 -  レールエンドキャップビス



- 凡例**
-  トリガービス



ビスを締めすぎるとロングトリガーが変形して吊車の走行の抵抗になる恐れがあります。
手動ドライバーでビスの締め具合を調整してください。

ガイド・下部レールの取付

右表のとおり各納まりに応じた金物を取付けます。

【注意事項】

※右表はクロス仕上げの場合の寸法を示します。塗り壁時を含め、取付寸法は邸別(開口毎)の納まり図でご確認ください。

※塗り壁時の塗り厚は2~3mmを想定してます。

片引き戸(上吊)

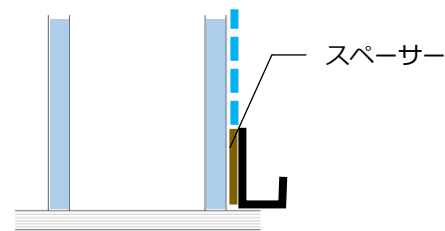
【共通】



床付ガイドの場合



壁付ガイドの場合



※壁付ガイド(塗り壁仕上げ)の場合、塗り厚分のスペーサー(合板等)を挟んで取付けてください

アウトセット片引き戸(上吊)

【共通】



床付ガイドの場合



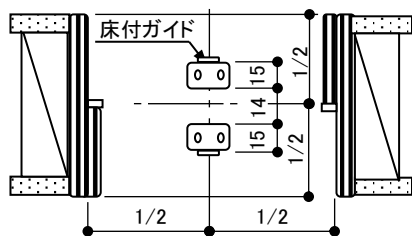
壁付ガイドの場合



かい木
(現場手配)

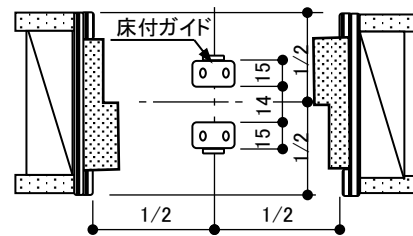
2枚引違い戸(上吊)

【ステルス】



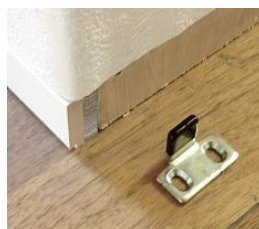
床付ガイド(壁付ガイドは使用不可)

【インセット枠】

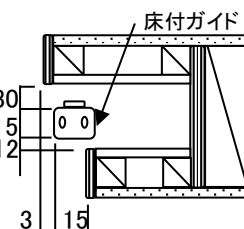


ポケット戸(上吊)

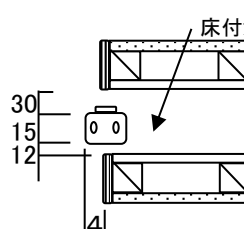
【ステルス】



床付ガイド(壁付ガイドは使用不可)



【インセット枠】

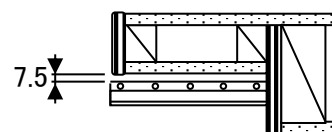


片引き戸(上吊/カロ・ベットドアタイプ)

【共通】

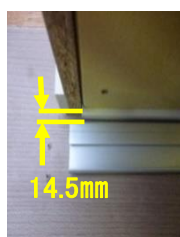


下部レール(ガイドは使用不可)

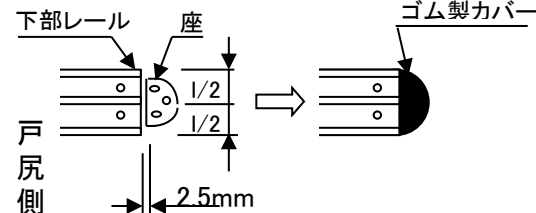
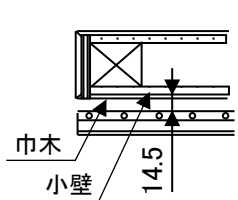


アウトセット片引き戸(上吊/カロ・ベットドアタイプ)

【共通】



下部レール(ガイドは使用不可)



下部戸当たりの取付

扉の吊り込み

建具下の溝をガイドに差し込みます。

ポケット戸の場合は先ず戸尻側のみ、扉上部のケーシングと上レール内の上ローラーを連結してください。次に扉を回転させながら、扉下部の溝を床付ガイドに差し込みます。

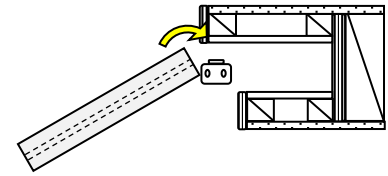
【ガイドの場合】



床付ガイドの場合



壁付ガイドの場合



ポケット戸の場合

建具の戸尻側の下端に打込みスペーサーを使って下ローラーを取り付けます。その後、下レールに下ローラーをはめ込みます。

【下部レールの場合(カロ・ペットドアタイプ)】



建具を起こしていきながら、建具上部のケーシングと上レール内にある上ローラーを連結し、吊り込み完了です。

【上ローラーの連結】



押す



パチン

【上ローラーの外し方】

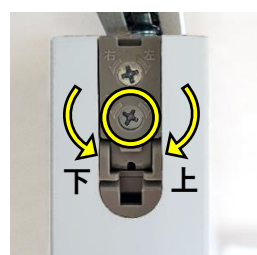


吊り込み後に上ローラーで調整をする際は、上下調整は下側のネジ、左右調整は上側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。

【上ローラーの調整】



右 左



下 上

【調整範囲】

上下方向±4.0mm

左右方向±2.0mm

全ての調整を終えたら、化粧キャップを取付けてください。

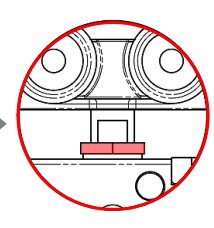
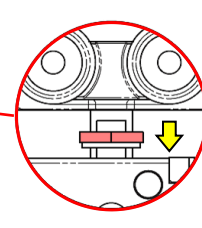
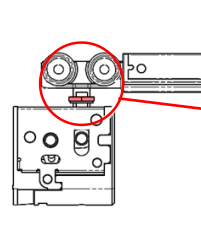
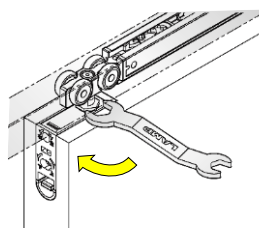
外す場合は、化粧キャップの溝にマイナスドライバー等を差し込み外してください。

【化粧キャップの取付】



両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締めてください。

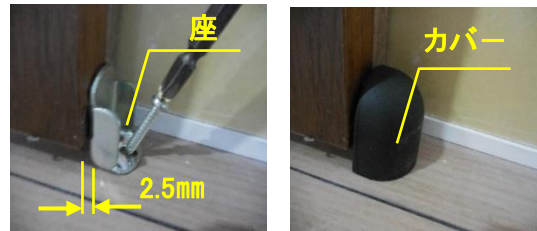
【跳ね上がり防止ナットの締付】



扉の吊り込み

扉を戸尻側に寄せて扉の下部に戸当りを取り付けてください。（扉の端部から2.5mm離し、見込み方向の真ん中に取り付けてください）
戸先側・戸尻側共、同様に行ってください。

【下部戸当たりの取付・アウトセット片引き戸の場合】



クロスが乾いてから受け金物部分(鎌錠付の場合、鎌錠受け部分)にカッターで切り込みを入れ、受け金物を加工部に取り付けます。

【鎌錠受けの取付】



塗り壁の場合は、塗り仕上げ前に鎌錠受けを取付けてください。

鎌錠受けで調整する場合は、上下調整は上下の固定ビスを緩めて、鎌錠受けを手で上下に動かしてください。隙間の調整は内側にあるビスをまわして調整を行ってください。

【鎌錠受けの調整】



芯棒が種類入っているので、一番長い(32mm)もので錠を取付けてください。（短い芯棒を使用するとかかりが悪くなります）

【片引き戸錠の調整】

1番長い芯棒を使用



扉にアウトセット引戸錠を取り付けた後、受け金物を中方立下地の角部と扉に取り付けたアウトセット引戸錠の高さ位置に合わせ、付属ねじで固定します。

【アウトセット引戸錠の取付・クロス仕上げの場合】



塗り壁の場合は、受け金物を中方立下地の端部から3mm出し、所定の取り付け高さ位置に合わせ、付属ねじで固定します。

【アウトセット引戸錠の取付・塗り壁仕上げの場合】



塗り壁の場合、CHが1550mm以下又はお客様からのご指示等により引手センター位置が変更になった場合は、FLから引手センターまでの高さより47mm引いたところを受け金物の下端として取付高さ位置を決めてください。